

障がいをもつ学生の 理解と支援



FD・SD共通/SPOD加盟校内講師派遣プログラム

大学における障がい学生支援は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の合理的配慮規定等の施行以降、大きな変革の時期を迎えています。愛媛大学には古くから障がい学生が在籍してきた歴史があり、草の根的に支援体制が作られていました。平成20年頃からこれらの支援を組織化していき現在に至っています。現在では約50名ほどの学生が合理的配慮の提供を求めており、大学としてそれぞれの学生に応じた支援を提供しています。

本講では、愛媛大学で行ってきた障がい学生支援の実際についてお話しされます。

日時

2019年6月26日(水) 13:10~14:40

会場

共通教育棟1号館2階127番教室 (朝倉キャンパス)

対象者

本学教職員およびSPOD加盟校の教職員

定員

40名

講師

愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 副センター長
(兼)人権センター 副センター長 教授 **野本 ひさ** 氏

<経歴>

平成8年に愛媛大学医学部看護学科助手として着任、同学科基礎看護学准教授として看護教育に従事したのち平成22年に愛媛大学学生支援センターの専任教員になり現在にいたる。

40歳で学位取得を目指し、愛媛大学連合大学院にて学術博士を取得した。研究分野は高齢者や介護者のQOLに関する調査研究。

平成15年度より愛媛大学全体の教育改革に携わるようになり、黎明期のFD企画・実践ののち、現在の学生支援領域に至った。学生支援センターでは主に学生相談と学生支援に関するコーディネートをを行っている。平成30年度からは新たに本学に設立された人権センターの副センター長も兼務し、大学における人権問題の予防・解決にも携わっている。



講師:野本 ひさ 氏

<応募方法>

件名を「高知大学講師派遣プログラム「障がいをもつ学生の理解と支援」の申込み」とし、本文に「①氏名(ふりがな)②所属③職名④メールアドレス⑤電話番号」を入力の上、6月19日(水)までに下記のアドレスにE-mailにてお申し込みください。

【申込先アドレス: y-spod@kochi-u.ac.jp】

